新日本理化株式会社

証券コード：4406（東証スタンダード）

Be the best SPICE!

2027年3月期上期決算説明

2026年11月20日

代表取締役 社長執行役員 盛田 賀容子

※本資料の記載金額は表示単位未満を切り捨て、パーセント表記は小数第2位を四捨五入し表記しております。

０１ 新日本理化について（100年の歩みと目指す姿）

０２ 2027年3月期　上期決算業績概要

０３ 2027年3月期　通期業績予想

０４ 中期経営計画（2026-2030）の進捗

100年の歴史と、わたしたちが目指すこれからの新日本理化

Be the best SPICE!

新日本理化グループの歩み

1920年に登録された社章



伏見工場見取り図（1940年頃）

- 「水」から始まった100年
  1919年（大正8年）、京都・伏見にて「水の電気分解」から創業。1920年登録の社章は、2つの「H」と1つの「O」で水分子をデザインしたもの。副生水素の有効活用から当社の技術革新がスタート
- 身近な暮らしを支え続けた歴史
  洗剤・石鹸原料から、住宅建材、自動車、そして最先端の半導体材料へと、時代のニーズに合わせて事業を進化
- 受け継がれる「もの創りのDNA」
  独自の技術を編み出してきた、妥協のない技術開発精神

Top Message



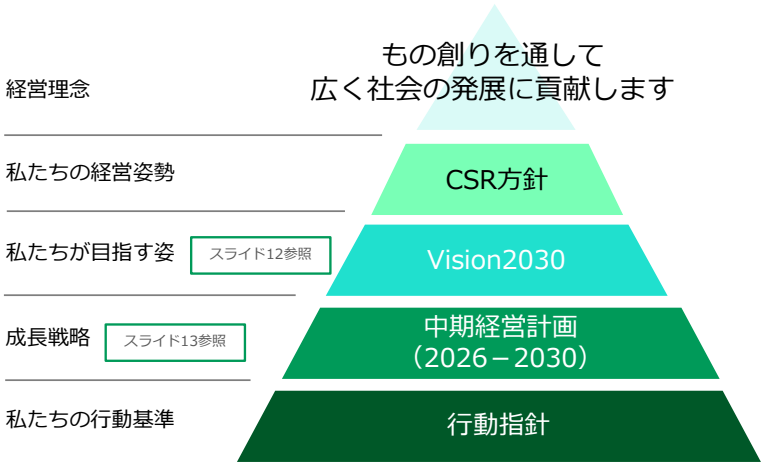
人と化学に向かい合い、持続可能な未来へ挑んで参ります

ー 100年培った「もの創りのDNA」と独自技術を軸に、社会やお客様に不可欠な「SPICE（高機能素材）」を提供し続けます

代表取締役社長　盛田賀容子　Profile

- 1990年 新日本理化入社
- 研究開発、知的財産、企画管理、営業部門を歴任
- 2025年 代表取締役社長就任（社内出身）
- 技術現場の知見と経営管理の双方に精通

- 理念体系



CSR方針

1．社会課題の解決
2．環境への責任
3．安全への責任
4．人権の尊重
5．企業統治の責任
6．従業員への責任

創業からの新日本理化100年の歩み

Be the best SPICE!

「事業は公益たるべし」「企業は公器たるべし」、創業の志のもと、各時代の社会課題に向き合ってきた100年

社会のニーズ

生活基盤の創成期	高度経済成長期	情報化プラスチック拡大期	デジタルグローバル基盤強化期	AI・半導体脱炭素変革期
1919年	1950年代	1980年代	2010年代	現在
● 大正・昭和初期の近代化 ● 衛生・清潔な暮らしへの高まり	● 住宅の建設ラッシュ ● 家電、シャンプーの普及	● 自動車、家電の軽量化 ● プラスチック素材の耐久性向上	● モバイルフォン、IT機器の世界普及 ● 電子部材の高耐熱、高精度化	● スマートフォン・AI・電気自動車の普及に伴う先端半導体需要 ● 脱炭素・プラスチックリサイクル
Phase 1　創業・オレオケミカル	Phase 2　可塑剤・インフラ基盤	Phase 3　機能性樹脂・高機能化		Phase 4　生成AI半導体・GX素材

新日本理化の取り組み

洗濯石鹸・シャンプー原料 工業用油脂など	床材・壁紙 電線被覆材向け汎用可塑剤など	車載用高耐熱樹脂 樹脂用透明化核剤 LED保護樹脂など	パソコン用高精密潤滑油 液晶・ディスプレイ材料など	先端半導体材料 車載向け高耐熱可塑剤 プラスチックリサイクル促進添加剤など
				

社会・暮らしへの貢献

➢ 人々の身近な衛生環境の普及と安心を支える	➢ 快適で丈夫な住宅空間づくり ➢ 豊かな洗髪・身だしなみ習慣に貢献	➢ 軽くて丈夫な家電、車載部品 ➢ 使いやすい透明プラスチック容器の普及	➢ デジタル機器の精密化、長寿命化を支え、次世代に向けたイノベーション基盤	➢ 最先端デジタル社会の実現 ➢ 地球環境に配慮した持続可能な未来の創出への貢献

＊ＧＸ：グリーン・トランスフォーメーション

暮らしを支える新日本理化の「基礎素材」と「高機能素材」

Be the best SPICE!

住宅やオフィス、病院、商業施設、車、道路など、みなさまの日々の身近な場所で
当社の素材は使用されています

【バルクケミカル】基礎素材



家庭用洗剤、歯磨き粉、シャンプー、ボディソープ、ヘアケア製品、日焼け止め、化粧水、乳液、口紅、繊維油剤、タイヤ



合成皮革、床材、壁紙、外壁用塗料、ビルの屋上用防水シート
ワイヤーハーネス、電線被覆、フレキシブルホース

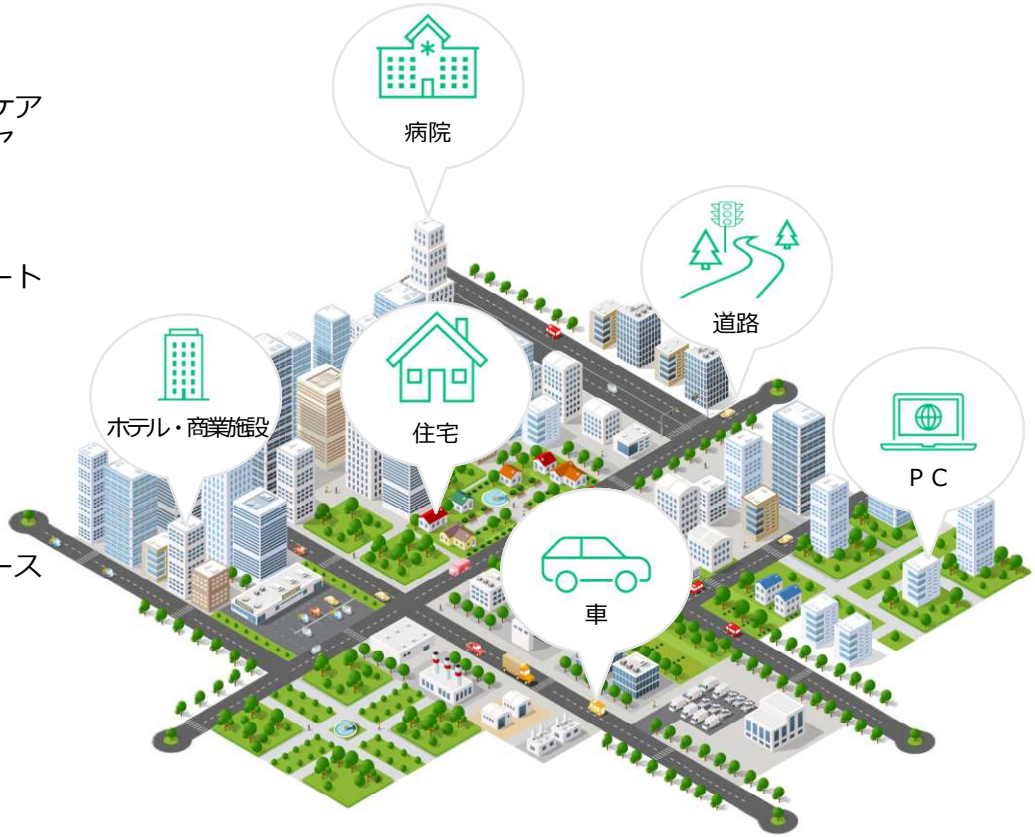
【ファインケミカル】高機能素材



自動車用塗料、 LED保護樹脂、パソコンなどの電子製品の
プリント基盤、バスタブ、システムキッチン、透明衣装ケース



医療用血液・輸液バッグ、スマートフォン基盤
プラスチック製品をバイオマス化する環境素材



サステナビリティへの取り組み

Be the best SPICE!

「中期経営計画 × サステナビリティ推進」の沿革とロードマップ

中期経営計画（2021-2025）【 基盤構築 】					中期経営計画（2026-2030）【 構造改革 】				経営Vision 2030最終年度	次期中期経営計画【 飛躍・挑戦 】
2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度～
CSR中期ビジョン2025					CSR中期ビジョン2030					次期CSR中期ビジョン

「環境・社会・人（命）に関わる課題に果敢にチャレンジし、価値創造企業を目指す。」

<2021年度>
- CSR方針策定
- CSR推進体制確立
- 重要課題の設定
- 初刊CSR報告書の発行
- 環境配慮型製品
  「バイオマス可塑剤」を開発

<2022年度>
- 環境配慮型製品「結晶核剤」を開発

<2023年度>
- 環境配慮型製品
  「エモリエント剤」を開発

<2024年度>
- CSR調達方針策定
- 環境配慮型製品
  「バイオマス潤滑油」を開発

■ 重点注力する開発製品

Digital領域

提供領域：
半導体、光学材料、情報・通信向け
製品：
レジスト原料、半導体用モノマー、光学調整剤、超高耐熱樹脂、HDD用潤滑油など

Green領域

提供領域：
樹脂改質、サステナブル向け
製品：
PA改質剤、結晶化促進剤、リサイクル樹脂用添加剤
バイオマス潤滑油、バイオマス化粧品素材など

サステナビリティ推進の加速

経営ビジョン「Vision 2030」

Be the best SPICE!

Digital領域、Green領域で
「不可欠なSPICE」
となる製品で市場を牽引

目標　売上高 ： 350億
　　営業利益率 ： 5%

Be the best SPICE! は新日本理化の商標です。

サステナビリティへの取り組み

Be the best SPICE!

環境　カーボンニュートラルへの挑戦

2050年カーボンニュートラルに向け「2030年度CO_2排出量50%削減」の目標に向けて2025年度時点で2013年度比49.9%削減（22,091t）を達成



環境　環境配慮型製品の取り組み

独自技術を活用した環境配慮型製品の開発を通じて、脱炭素やリサイクル促進などの社会課題解決に貢献

成形効率向上・省エネ貢献：結晶化促進剤「RiKACRYSTA®」



- プラスチックの成形スピードを加速
- 製造時間を短縮、省エネ(CO_2削減)を実現。
- 熱に弱い生分解性プラスチックの耐熱性を向上
- リサイクル材や環境配慮型プラスチックの普及を後押し

脱石油・バイオマス推進：バイオマス可塑剤「グリーンサイザー®」



- 石油由来から植物由来原料への切り替えを実現
- 日用品・建材で使用する塩化ビニル製品のバイオマス化
- 脱炭素社会の実現に貢献します。

社会　地域社会とともに



京都R&Dセンターでは地域社会との共生、次世代育成を目的とした地域交流イベントを積極的に推進

社会　安心安全操業の推進

労働安全衛生基本方針「従業員の安全と健康は経営の基盤」を掲げ、従業員の命や健康の確保、工場の安全操業など重点推進





社会　サプライチェーンの持続可能性を高める

サプライチェーン全体でのCSR調達の徹底と、環境に配慮した責任ある原料調達を推進

- サプライヤーとの良好なパートナーシップ
  （ 当社独自のCSR調達アンケート実施結果：　平均4.4点／5.0点 ）
- 責任ある原料調達
  （ RSPO認証パーム油出荷量：　2018年度比 約11倍の1,335tへ拡大 ）

＊上記はいずれも当社2025年度実績

０１ 新日本理化について（100年の歩みと目指す姿）

０２ 2027年3月期　上期決算業績概要

０３ 2027年3月期　通期業績予想

０４ 中期経営計画（2026-2030）の進捗

2027年3月期上期決算（連結）：財務ハイライト

単位：百万円	2026年3月期 上期実績	2027年3月期 上期実績	前年同期比		通期業績予想に対する上期進捗率
			増減額	増減率	
売上高	15,799	**18,734**	+2,935	+18.6%	56.1%
営業利益	341	**1,772**	+1,430	+419.0%	77.1%
営業利益率	2.2%	**9.5%**	+7.3p	–	–
経常利益	186	**2,057**	+1,870	+1000.4%	79.1%
親会社株主に帰属する中間純利益	238	**1,020**	+781	+327.1%	68.0%

サマリー

- **売上高： 大幅な増収増益・通期業績予想を上方修正**
  生成AI普及に伴う先端半導体向け需要の拡大や主要製品の適正価格改定が寄与
- **営業利益： 大幅な増益・収益の質的転換が加速**
  先端電子材料向け等の「高機能SPICE製品」が伸長
- **中間純利益： 大幅な増益・構造改革の着実な実行**
  不採算事業からの撤退や持分法適用関連会社の合弁解消など、事業再編を計画通り推進

０１　新日本理化について（100年の歩みと目指す姿）

０２　2027年3月期　上期決算業績概要

０３　2027年3月期　通期業績予想

０４　中期経営計画（2026-2030）の進捗

2027年3月期通期業績予想（連結）：財務ハイライト

Be the best SPICE!

SPICE製品の伸長と構造改革の進展により通期業績予想を再上方修正。
高収益構造への転換を加速させ、期末配当予想を増額修正（＋1.5円の増配）

業績

単位：百万円	2026年3月期 実績	2027年3月期 予想
売上高	32,105	**33,400**
営業利益	576	**2,300**
営業利益率	1.8%	**6.9%**
経常利益	547	**2,600**
親会社株主に帰属する当期純利益	597	**1,500**
年間配当	4.5円	**6円**

	業績見通し 売上高	業績見通し 営業利益	戦略の方向性
ファインケミカル領域	→	↗	・次世代半導体や環境対応分野でのグローバルニッチトップ戦略を推進 ・RiKACRYSTA®等の注力製品の自動車部品等への採用拡大（SPICE製品が順調に伸長）
バルクケミカル領域	→	↗	・事業ポートフォリオの最適化（聖域なきスクラップ）の断行 ・機動的な価格改定による適正なスプレッドの確保

０１ 新日本理化について（100年の歩みと目指す姿）

０２ 2027年3月期　上期決算業績概要

０３ 2027年3月期　通期業績予想

０４ 中期経営計画（2026-2030）の進捗

経営ビジョン「Vision 2030」・ 中期経営計画（2026－2030）

2030年のありたい姿

2030年のありたい姿を実現する道筋として、2021年3月に経営ビジョン「Vision2030」を策定しました。1919 年の創業から、経営理念「もの創りを通して広く社会の発展に貢献します」のもと、着実に事業を継続してまいりました。この先も社会とともに成長を続け、新日本理化の企業理念を具現化し、2030年のありたい姿を実現することで、更なる企業価値向上を目指してまいります。

Be the best SPICE!

～心躍る極上のスパイスになる～

当社が創るのは、社会の様々なシーンを支える、キラリと光る唯一無二の特性をもった素材です。

私たちは、模倣困難な技術力と多様な人財を結集し、社会やお客様のビジネスに「不可欠なスパイス」を提供し、

人々の心を躍らせる新たな感動を生み出し、持続的な成長を遂げる企業へと飛躍いたします。

経営ビジョン「Vision 2030」・ 中期経営計画（2026－2030）

Be the best SPICE!

中期経営計画（2026－2030）

中期経営計画（2026～2030）を2026年5月に公表しました。本中期経営計画では、「社会（お客様）の満足を超えた感動を生み出す機能を提供できる、もの創りの会社であり続けること」を方針に、ファインケミカル主導の事業ポートフォリオの質的転換を主軸として、お客様と成長していくことを目指してまいります。

主 要 計 数

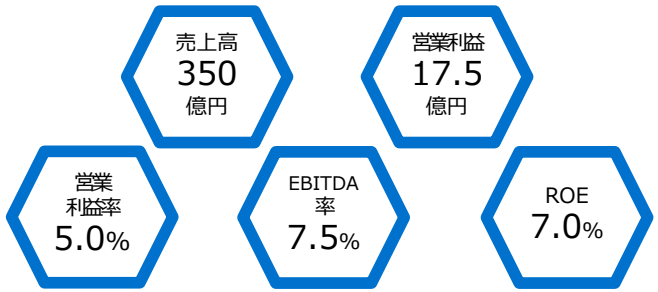
中期経営方針

社会（お客様）の満足を超えた感動を生み出す機能を提供できる、もの創りの会社であり続ける

1. 稼ぐ力の再構築 2.0

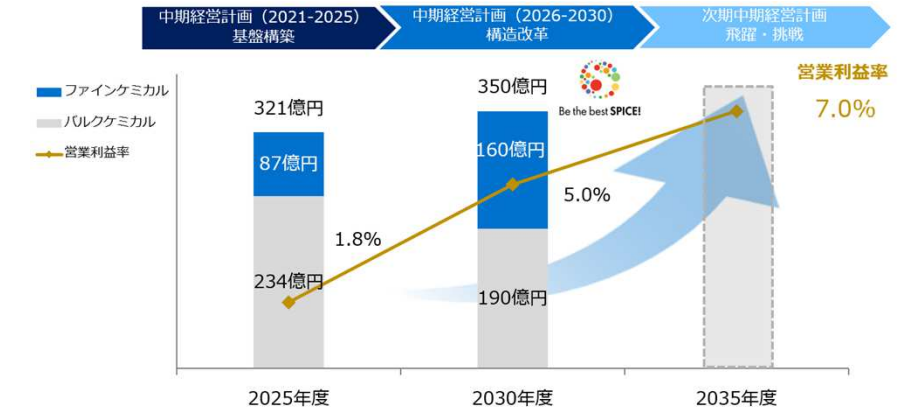
2. 筋肉質な経営基盤の構築

3. 無形資産の戦略的活用（知的財産・人財）

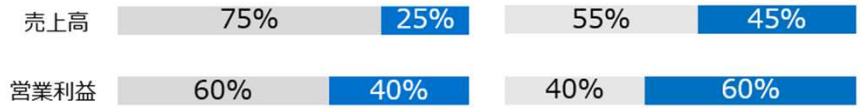


事業ポートフォリオの「質的転換」と長期ロードマップ

売上高・営業利益率KGI推移



ポートフォリオの「質的転換」推移予測



中期経営計画（2026－2030）の主要施策の進捗

Be the best SPICE!

不採算事業の撤退・構造改革を計画通り断行。
高機能SPICE製品の拡大と工程安定化・原価低減による体質強化が進展

ポートフォリオの「質的転換」の推進

■ **不採算事業からの撤退・事業再編の断行**
- 海外合弁会社の合弁解消（2027年3月天然高級アルコール事業から撤退予定）
  高収益分野への経営資源集中を加速化

稼ぐ力の再構築 2.0

■ **重点注力するSPICE製品／Digital領域（先端半導体・ディスプレイ材料）**
- リカシッド®の評価体制強化により、開発スピードが向上。半導体・ディスプレイの微細加工に対応し基板密着性を高めた次世代品の開発が進展

■ **重点注力するSPICE製品／Green領域（環境貢献素材）**
- リサイクル樹脂を含む樹脂成型の生産効率を向上させるRiKACRYSTA®は国内外の採用が計画通り進捗

筋肉質な経営基盤の構築

■ **原価低減・工程安定化実績**
- 主要プラントでの制御最適化により、一部製品の工程安定化と原価低減（エネルギー削減）を達成

無形資産の戦略的活用

■ **知的財産のプロフィットセンター化**
- 研究と知財の一体体制を構築し、自社技術の強みや独自性を迅速に把握
- 研究現場での知財戦略の深化と効率的な運用により、技術の収益化を加速

＜見通しに関する注意事項＞

- 本資料に記載されている業績予想は、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。

- したがいまして、実際の業績は、様々な要因やリスクにより、この業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。

新日本理化株式会社

【本資料に関するお問い合わせ先】

新日本理化株式会社
経営企画部
（06）6202-0621
https://www.nj-chem.co.jp/

新日本理化株式会社

Be the best **SPICE!**